

当日配布

高知県東部地域博覧会の検討状況

第2回安芸地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成26年2月13日

高知県観光振興部地域観光課

開催の意義

観光をキーワードとした産業の振興や地域ブランドの創出をこれまでの地域の枠組の中で行うのではなく、広域でダイナミックに発信し、交流人口の増大を促していくことで、より一層の産業の活性化や地域文化の伝承につなげていく。

開催目的

- ①博覧会を通じて、来訪者と地域住民が交流を回り、「行ってみたい」「また来たい」と思ってもらえる取り組みを実施する。
- ②高知県東部地域のファンや移住者を増やし、産業振興や地域発展につなげ、将来に向けて持続可能な地域づくりを行う。
- ③高知県東部地域の自然や文化、産業や歴史、食などを通じ、新たな出会いや感動を生み出す。
- ④9市町村が連携をしてひとつの「和」になり、住民のおもてなしの気運を高める。
- ⑤博覧会で得られたノウハウにより、これからの地域を担う人材を育てていく。
- ⑥博覧会を機会に、高知県東部地域全体の観光案内やコーディネートができる組織をつくる。

集客目標

●2012(平成24)年度の観光客数に対して産直・宿泊施設10%増、施設20%増、イベント30%増を目指す

高知県東部地域博覧会の 基本計画案 概要

コンセプト

『高知県東部の人のおもてなしとジオの恵みにであう旅』



愛称

高知家・まるごと東部博

開催内容

拠点施設の設置、イベントの実施、体験プログラムの開発と実施、キャンペーンの実施、観光商品の開発

開催場所

安芸広域エリアの9市町村

室戸市・安芸市・東洋町・奈半利町・田野町・安田町・北川村・馬路村・芸西村

開催時期

2015(平成27)年4月中旬～12月下旬

開催主体

高知県東部地域博覧会推進協議会

誘客戦略

パビリオンやインフォメーションセンターとなる拠点施設を整備するとともに、期間中、地域外からの来訪者をターゲットにできるイベントや観光資源を活用した体験型ツアーを連続的に開催。この実施内容を県内外に積極的に広報し、多くの誘客を図っていく。

- 広域周遊への誘導
- 滞在型・体験型観光、着地型ツアーの実施

【ターゲット】

四国内、近畿中国地方を中心に、若者、家族、中高年など、あらゆる世代。

早期情報発信と広報戦略

地域内外の人々に対し東部地域博覧会を早期からPRして認知させ、地域住民や来訪者の期待感を高めていく。特に、来訪者には「行ってみよう」と行動に移してもらうことが重要。さまざまな媒体を通じ、コンセプトや理念に沿った統一したイメージを持つ広報戦略を行う。

住民参加・企業参加

各市町村に各種団体や住民などで構成する「東部地域博覧会推進委員会」を設置して、博覧会の企画・運営に対し、地域住民が積極的に関わられる仕組みづくりを行っていく。また、資金やノウハウを提供してくれる企業を積極的に誘致。地元企業や関連団体、県内企業や高校、大学等に参加協力の呼び掛けを行う。

パビリオン

来訪者が特に予定を立てずに高知県東部地域を訪れたり、雨天対策でこのパビリオンに立ち寄ることで東部地域の魅力が分かり、博覧会の情報や特産品などが入手できる施設。室戸ジオパーク拠点施設(新設)などを予定

インフォメーション施設

高知県東部の9市町村の中で、駐車スペースや休憩、トイレ機能があり、東部の魅力やイベント、ツアーなどを紹介するインフォメーション的な役割を担う施設。

イベント

東部ならではの特色を持つ地域資源を活かし、その魅力を最大限にアピールできるイベントを開催。既存イベントのブラッシュアップを図り、集客力の高い新たなイベントを創出し、実施することで東部地域の交流人口の拡大、ファンづくりを目指す。

プレイベント
本イベント

- ・オープニングイベント
- ・コアイベント
- ・地域イベント
- ・クローージングイベント

体験プログラム

地域資源を活かした体験を来訪者に提供することで、来訪者と地域の交流が生まれる。体験プログラムのキーワードは「人」。人と人が温かいつながりを持てるプログラムの新規開発、既存プログラムのブラッシュアップを行う。

新たな体験プログラムの開発
既存プログラムの活用と磨き上げ
体験プログラムの連携

キャンペーン

博覧会の期間中、何度も東部地域を訪れたくなるような工夫をしたキャンペーンの実施。また、実際に東部地域を訪れた来訪者から、イベントや体験、ツアーなどの意見を聞き、今後の取り組みにフィードバックさせる。

- 東海岸パスポート
- 地域売場キャンペーン
- モニターツアー
- 大学生インターンシップ事業

旅行会社への売り込み

より多くのツアー客を呼び込むために、県外の旅行会社等に積極的な営業展開を行う。

着地型ツアーの開発

観光協会や地元団体の協力のもと、博覧会のコンセプトに合わせ、魅力的な地域資源、体験プログラムなどを組み込んだ、東部地域ならではのオリジナルツアーを開発する。

個人の来訪者への取り組み

モデルコースの設定、イベントや体験プログラムの情報提供、ウォークラリーの実施等。

スケジュール

